

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月9日

上場会社名 三笠製菓株式会社
 コード番号 4542 URL <http://www.mikasaseiyaku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 緒方 巧
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経理部長 (氏名) 原 耕一
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 JQ

TEL 03-3992-0141

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	6,638	—	538	—	598	—	334	—
20年3月期第3四半期	6,723	11.4	884	16.2	993	△1.4	584	△1.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	24.24	—
20年3月期第3四半期	42.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	17,727	14,626	82.5	1,061.81
20年3月期	17,497	14,622	83.6	1,060.26

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 14,626百万円 20年3月期 14,622百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,409	0.1	563	△27.7	693	△23.8	380	△27.2	27.55

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	14,182,184株	20年3月期	14,182,184株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	406,712株	20年3月期	390,298株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第3四半期	13,788,727株	20年3月期第3四半期	13,838,313株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は業績の変化等により、上記の予想値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、3ページ「定性的情報・財務諸表等3.業績予想に関する定性的情報」をご確認ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

サブプライム問題に端を発した世界的な金融市場の混乱に伴う景気後退の影響が広がるなか、加えて、医薬品業界は薬価基準の引下げ改定などの医療費抑制策が浸透してくるなど、大変厳しい事業環境下におかれています。

①売上状況について

このような厳しい状況下、当社は10月より当社固有の剂形的特徴を有する、経皮吸収型鎮痛・消炎フェルピナク固形軟膏「スミルスチック」の「40gダイアル式容器」製品を新発売するなどして売上の拡大に努めておりますが、市場低迷の影響を受け主力製品の苦戦もあり、第3四半期累計期間の売上高は6,638百万円となりました。

②収益状況について

収益の状況は、原材料費の上昇、機械装置設備投資による減価償却負担増加等により売上総利益率が低下しており、また、人件費・教育研修費などの諸経費増もあり、営業利益は538百万円となりました。経常利益は、営業外費用に長期性預金の組込みデリバティブ評価損16百万円を計上したこともあり598百万円となり、またMBOに伴う弁護士費用等の特別損失があり、税引後の四半期純利益は334百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 当第3四半期会計期間末の財政状態

当第3四半期会計期間末の総資産残高は、前事業年度末比229百万円増加し、17,727百万円となりました。

①資産の部

流動資産は、有価証券が債券の期日償還で減少した一方で、現預金、売掛金が増加し、また、法人税等および消費税の中間納付による仮払金の増加もあり、前事業年度末比635百万円増の10,375百万円となりました。

固定資産は、主に長期性預金の長短振替により、前事業年度末比406百万円減の7,352百万円となりました。

②負債の部

流動負債は、仮受消費税が増加する一方で設備支払手形が減少しており、前事業年度末比288百万円増の2,615百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金・役員退職慰労金引当金の減により前事業年度末比63百万円減少し、485百万円となりました。

③純資産の部

利益剰余金が127百万円増加する一方で、その他有価証券評価差額金が110百万円減少し、自己株式が13百万円増となり、純資産は前事業年度末比4百万円増となりました。

(2) キャッシュ・フローの分析

当第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、マイナス229百万円となりました。これは、税引前四半期純利益547百万円、減価償却費389百万円を計上しましたが、売上債権が前事業年度末比735百万円増加（平成20年1～3月の平均売上対比平成20年10～12月の平均売上が約37%増加、第3四半期会計期間末日が金融機関の休業日であったため、売掛債権の入金160百万円が翌月初にズレ込んだこと）していること、また今期の新製品スミルスチック容器変更品・ゼボラステープなどの製品及び原材料のたな卸資産が前事業年度末比110百万円増加していること、および法人税等の支払が327百万円あったことなどの要因によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等（主に製造設備）による支出が522百万円ありましたが、有価証券（主に債券）の期日償還等による収入が1,945百万円あり、手元資金を積増していることもあり、プラス684百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払、自己株式の取得などにより、マイナス220百万円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の第3四半期末残高は、前事業年度末比234百万円増加し、3,067百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、前回発表（平成20年11月7日付平成21年3月期第2四半期決算短信）の業績予想から変更ありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

四半期会計期間に係る法人税等については、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（累計期間）に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用し、評価基準については原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ8,864千円減少しています。

③ 第1四半期会計期間から、法人税法の改正を契機として資産の利用状況を見直した結果、機械装置の耐用年数を4～7年から4～8年に変更しております。

なお、この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期累計期間の減価償却費は28,715千円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ28,715千円増加しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,422,993	2,881,984
受取手形及び売掛金	4,086,131	3,350,267
有価証券	1,374,685	2,601,591
商品	141,780	124,296
製品	356,008	334,781
原材料	315,161	266,819
その他	681,303	182,416
貸倒引当金	△3,000	△3,000
流動資産合計	10,375,065	9,739,156
固定資産		
有形固定資産	2,871,287	2,844,127
無形固定資産	24,899	35,802
投資その他の資産		
投資有価証券	2,662,568	2,851,298
長期性預金	1,600,000	1,900,000
その他	239,848	172,757
貸倒引当金	△46,500	△45,400
投資その他の資産合計	4,455,916	4,878,656
固定資産合計	7,352,103	7,758,586
資産合計	17,727,168	17,497,742
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,067,899	1,019,971
未払金	514,613	461,374
未払法人税等	233,556	159,091
賞与引当金	109,401	192,300
売上割戻引当金	76,367	61,187
返品調整引当金	110	1,293
デリバティブ債務	16,243	0
その他	596,910	431,193
流動負債合計	2,615,100	2,326,411
固定負債		
退職給付引当金	358,310	377,644
役員退職慰労引当金	126,775	170,735
固定負債合計	485,085	548,379
負債合計	3,100,186	2,874,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,714,760	1,714,760
資本剰余金	1,367,435	1,367,387
利益剰余金	11,588,511	11,461,109
自己株式	△224,100	△210,847
株主資本合計	14,446,607	14,332,410
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	180,374	290,541
評価・換算差額等合計	180,374	290,541
純資産合計	14,626,981	14,622,951
負債純資産合計	17,727,168	17,497,742

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

当第3四半期累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

売上高	6,638,583
売上原価	3,504,983
売上総利益	3,133,600
販売費及び一般管理費	
運賃	82,072
広告宣伝費	101,322
販売促進費	317,214
交際接待費	69,326
給料手当及び賞与	884,900
賞与引当金繰入額	67,050
法定福利費	94,946
退職給付費用	59,763
旅費及び交通費	174,972
事業所税	2,879
賃借料	74,371
研究開発費	328,440
減価償却費	49,644
その他	288,418
販売費及び一般管理費合計	2,595,324
営業利益	538,275
営業外収益	
受取利息	9,681
有価証券利息	19,876
受取配当金	23,452
デリバティブ評価益	—
その他	31,567
営業外収益合計	84,578
営業外費用	
社宅等解約損	760
リース解約損	412
原材料廃棄損	5,588
貸倒引当金繰入額	1,100
デリバティブ評価損	16,243
その他	470
営業外費用合計	24,575
経常利益	598,278
特別損失	
固定資産除却損	16,784
投資有価証券評価損	25,000
公開買付関連費用	8,822
特別損失合計	50,606
税引前四半期純利益	547,671
法人税等	213,390
四半期純利益	334,280

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期会計期間
(自平成20年10月1日
至平成20年12月31日)

売上高	2,299,108
売上原価	1,253,876
売上総利益	1,045,231
販売費及び一般管理費	
運賃	29,712
広告宣伝費	41,190
販売促進費	113,292
交際接待費	32,804
給料手当及び賞与	381,716
賞与引当金繰入額	△56,797
法定福利費	32,779
退職給付費用	20,345
旅費及び交通費	56,995
事業所税	960
賃借料	26,257
研究開発費	119,711
減価償却費	12,941
その他	93,559
販売費及び一般管理費合計	905,470
営業利益	139,761
営業外収益	
受取利息	3,728
有価証券利息	6,204
受取配当金	8,554
デリバティブ評価益	12,081
その他	12,546
営業外収益合計	43,115
営業外費用	
社宅等解約損	—
リース解約損	—
原材料廃棄損	322
貸倒引当金繰入額	—
デリバティブ評価損	—
その他	470
営業外費用合計	792
経常利益	182,083
特別損失	
固定資産除却損	3,311
投資有価証券評価損	—
公開買付関連費用	3,044
特別損失合計	6,355
税引前四半期純利益	175,728
法人税等	69,916
四半期純利益	105,812

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	547,671
減価償却費	389,236
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,100
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△82,899
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△19,334
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△43,960
デリバティブ評価損益 (△は益)	16,243
投資有価証券売却損益 (△は益)	△33
投資有価証券評価損益 (△は益)	25,000
有形固定資産除却損	16,784
受取利息及び受取配当金	△33,134
有価証券利息	△19,876
売上債権の増減額 (△は増加)	△735,864
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△110,315
その他の資産の増減額 (△は増加)	△27,625
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,927
未払金の増減額 (△は減少)	△32,941
未払消費税等の増減額 (△は減少)	50,964
その他の負債の増減額 (△は減少)	52,366
小計	41,310
利息及び配当金の受取額	56,671
法人税等の支払額	△327,465
営業活動によるキャッシュ・フロー	△229,482
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△265,000
定期預金の払戻による収入	265,000
有価証券の取得による支出	△200,239
有価証券の売却及び償還による収入	1,945,907
有形固定資産の取得による支出	△522,950
無形固定資産の取得による支出	△1,154
投資有価証券の取得による支出	△542,943
投資有価証券の売却による収入	3,700
貸付金の回収による収入	2,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	684,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△206,878
自己株式の取得による支出	△14,441
自己株式の売却による収入	1,235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	234,804
現金及び現金同等物の期首残高	2,832,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,067,308

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

「参考資料」

(要約) 四半期損益計算書

科 目	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高	6,723,016	100.0
II 売上原価	3,291,486	49.0
売上総利益	3,431,530	51.0
III 販売費及び一般管理費	2,547,372	37.8
営業利益	884,157	13.2
IV 営業外収益	114,529	1.7
V 営業外費用	5,685	0.1
経常利益	993,001	14.8
VI 特別利益	4,806	0.1
VII 特別損失	11,670	0.2
税引前四半期純利益	986,136	14.7
法人税等	402,000	6.0
四半期純利益	584,136	8.7